

事業主側

組合員ノ介入ヲ極端ニ排斥セル工場主ハ将来ノ経営難ヲ虞レ
強硬ナル態度ヲ持シ居レリ
右及申(通)根拠也

別記(一)

要 求 書

- 一 賃金八元ニ復帰スルニ付
- 二 退職手当ノ制定 但シテ前未納ニ付 一ヶ月前上ノ平均額ニ半月分ヲ加算スルニ付
- 三 出勤者賞與八月二人分ヲ又給スルニ付 但シテ前未納ノ平均額ニ半月分ヲ加算スルニ付
- 四 残業ハ一時間 一分五厘ニ計算スルニ付
- 五 労働時間短縮ニ付一ヶ月前上ノ平均額ニ付
- 六 請負制及ノ撤廃並日給制及ノ確立
但シテ日給ハ前未納ノ平均額ニ半月分ヲ加算スルニ付

六 通勤票制の確立

八 食費 脱衣場 浴場 其他衛生設備の完備

九 臨時休業ノ際ハ日給金額又給

可 庶會久平又ノ即時承認

二 全労連内規ニ準シテ一切福利施設ヲ充テシム

昭和五年七月十一日

経理員 一同

別記(二)

通 知 書

全労連組合ニ依リ昭和五年七月十日ヨリ 高工場ヲ閉鎖スルノ止ムナキ
ニ至リ信三井及法不六三七條 及 第六三八條ニ基キ 此後御通知ニ及
ビ候也 右高工場法施行令 第六七條ノ二ニ基キ 貴下ノ現日給
ノ約四日分ヲ給與致スベシ候ニ付 末ハ七月三十日午前十時ヨリ 午後一時迄ノ間ニ